

<b>【科目名】</b> 生理学実習		<b>【担当教員】</b> 高橋圭三, 星野浩通, 佐藤厚 他 5 名 (メールアドレス) (代表 高橋圭三) takahashik@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 高橋, 星野, 佐藤, 康, 北村, 藤間, 山村 →月～金 9:00~17:00 の間の在室時。 黒瀬 (非) →高橋, 北村が対応。
<b>【授業区分】</b> 専門基礎分野 (基礎医学)	<b>【授業コード】</b> 2+11+0285-0-1	
<b>【開講時期】</b> 2 年次 前期	<b>【選択必修】</b> 必修	
<b>【単位数】</b> 1 単位	<b>【コマ数】</b> 2 3 コマ	
<b>【注意事項】</b>		
(受講者に関わる情報・履修条件) 2 年生全員が必修となっている。1 年次に学んだ生理学の基本的な知識が身に付いているものとして進めていく。		
(受講のルールに関わる情報・予備知識) 実習時には白衣を着用すること。実習内容によって開講場所が異なるので注意すること。(事前に連絡する。) 班に分けて実習を行う。事故のないよう細心の注意を払いつつ、限られた時間内に実習が完結できるよう、きびきびと行動すること。 実習後のレポート提出については、担当教員の指示に従うこと。 2 人～グループで協力して行う実習もあるので、欠席や遅刻のないよう、体調管理等に気を付けること。		
<b>【講義概要】</b>		
(目的) 生理学実習では生理学で学んだ知識を実習によって体験し、人体の多様な機能と調節機構について理解を深めることを目標とする。生体機能を科学的視点で捉える能力を高めるために、生理学の講義で習得した知識と実際に生体で起こる現象を包括的に融合させる。また、基本的な臨床検査の解釈に必要な基礎的知識を修得する。 (方法) 神経活動や筋収縮の実習は標本を使って行う。皮膚感覚や呼吸に関する実習等は各自が体験し確認する。また、筋電図や心電図などの記録と解析を行い、正常波形の特徴やバリエーションを理解する。		
<b>【一般教育目標(GIO)】</b>		
・ 生体機能を科学的視点で捉える能力を高めるために、生理学の講義で習得した知識と実際に生体で起こる現象を包括的に融合させる。また、基本的な臨床検査の解釈に必要な基礎的知識を修得する。		
<b>【行動目標(SBO)】</b>		
・ 生命現象の基礎となるデータの採取、結果の整理、考察ができる。		
<b>【教科書・リザーブドブック】</b>		
生理学実習プリント (各回に配布)		
<b>【参考書】</b>		
貴邑 富久子, 根来 英雄・「シンプル生理学 (改訂第 6 版)」南江堂, 2008 年. ¥3,132 (税込) 大地陸男著・『生理学テキスト (第 7 版)』文光堂, 2013 年. ¥5,184 (税込)		
<b>【評価に関わる情報】</b>		
(評価の基準・方法)		

平成 26～28 年度入学者用

成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。

23 回の実習終了後に本実習に関する記述式試験を実施する。

試験 40%、レポート 40%、実習中の態度や課題達成度 20%の割合で総合的に評価を行う。

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		40	0	40	0	20	0	0	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	40	0	0	0	0	0	0	40 点
	思考・推論・創造の力	0	0	40	0	0	0	0	40 点
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0 点
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0 点
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	20	0	0	20 点

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)	時 間 (分)
1~2 3~5 ① 6~8 ② 9~11 ③ 12~14 ④ 15~17 ⑤ 18~20 ⑥ 21~23	<p>オリエンテーション、レポートの書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心電図の記録と解析および血圧測定 (藤間・(山村))</li> <li>運動負荷による呼吸と循環 (康)</li> <li>皮膚感覚に関する実習 (星野)</li> <li>表面筋電図の記録 (高橋圭三)</li> <li>スパイロメーターを用いた肺容積の測定 (北村)</li> <li>唾液分泌に関する実習 (佐藤厚)</li> <li>運動神経伝導速度の実習 (黒瀬(非))</li> </ul>	<p>学生全体を、全専攻混ぜて 7 班に分け、左記の 7 項目を班により異なる順序(日程)で実習する。1 回の実習につき3コマ連続で実施する。班分けや各班の実習日程、注意事項等については、実習開始前に連絡する。</p>	<p>(予習) 各回の実習項目に関する「生理学」講義の復習(復習) 実習終了後にレポート作成の課題がだされた項目については、レポート作成</p>	<p>20分 60分</p>
	すべての実習終了し、すべてのレポートが提出さ	レポート返却	(予習)	

平成 26～28 年度入学者用

	れた後日に返却を行う	や、欠席項目がある学生への対応を行う。	全実習項目における疑問点等のチェック (復習) レポートの見直しと定期試験に向けた準備	20分  適宜
--	------------	---------------------	---	---------------

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。